

# 板野町総合戦略評価シート

(評価対象年度:平成30年度)

作成者:板野町総務課

【評価シートについて】

- この評価シートは、平成27年に策定した板野町総合戦略に位置づけられた施策について、KPI等により評価・検証し、必要に応じた総合戦略の評価等を実施するために作成したものです。
- 事業内容と進捗状況・課題欄には、主な取組の成果や課題等を記入しています。
- 今後の取組方針欄には、次年度以降の施策の取組方針を記入しています。
- 自己評価欄は、H30取組内容と進捗状況により、H30年度における施策の担当課における自己評価を記入しています。

自己評価の基準	A: 事業内容は適切である B: 事業内容は適切だが、課題が少しあり、事業の一部見直しが必要 C: 課題が多く、事業やKPIの大幅な見直しが必要 D: 事業の休・廃止を含めた検討が必要
---------	---

全体評価	施策数: 28項目 A評価: 10項目 B評価: 14項目 C評価: 4項目 D評価: 0項目
------	---

基本目標1 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
1 観光魅力の強化による交流拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>「あすたむらんど」訪問客の町中への誘導事業</li> <li>あさんウォーキングフェスティバルの充実・継続</li> <li>常設ウォーキングコースの整備</li> <li>ウォーキングラリーの実施</li> <li>ガイド倶楽部の創設</li> <li>「へんろ文化」の再生事業</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>(あさんWF)                      (第10回あさんウォーキングフェスタinいたの(高松自動車道4車線化記念事業))・板野町・あすたむらんど徳島・大塚製菓(株)徳島板野工場・徳島スポーツビレッジの官民一体となり町PRを目的としたウォーキングメインのイベントで第10回目の記念開催となる。2018年度内完成予定であった、高松自動車道4車線化に伴い、開通前の高速道路を10kmコースの一部として歩いていた。</p> <p>また、多世代が楽しめるようにウォーキング以外にもゲストのトークショーや地産地消等出店も行っている。</p> <p>(常設ウォーキングコース)                      ウォーキングの町いたのとして県内外からの参加者にいつでも歩いて頂けるようあさんWF10kmコース(一部除く)をモデルコースとして整備し、あさんWFのHPに掲載し活用して頂けるようにしている。</p> <p>&lt;課題&gt;                      (あさんWF)                      ・イベントを通じて町をより知って頂くための情報発信方法の検討。                      ・新しいことを取り入れつつ、持続可能な運営。                      (常設ウォーキング)                      ・ウォーキングを楽しめるよう、安全で安心な新コースの設置検討。                      (ウォーキングラリー)                      ・新コースの設置の検討及びイベントの周知方法の検討。                      (ガイド倶楽部の創設)                      ガイド倶楽部の創設はしたもの、活用までには至っていない。                      (「へんろ文化」の再生事業)                      遍路道の構造物にお遍路さんがいろいろなステッカーを貼っていたので、統一的なステッカーに貼り替えたりしたが、それ以後、統一的な顕著な活動が見られない。</p> <p>【H30取組内容】                      (あさんウォーキングフェスティバルの充実・継続)                      産業課で地産地消部門として、飲食ブース等の出店をしている。今後とも出店ブース等の継続とさらなる内容の充実を図っていく。</p> <p>(「あすたむらんど」訪問客の町中への誘導事業)                      イベント等で町のPRは実施しているものの事業として、関連できていない。</p> <p>(あさんウォーキングフェスタの充実・継続)                      ある程度の集客は、できているが、更なる集客増をどう図るかが課題である。</p>	・事業の継続とともに多くの方に町をより知って頂く機会を増やし、効果的な取組になるよう努める。 (「あすたむらんど」訪問客の町中への誘導事業) 今後ともあさんウォーキングフェスティバルや婚活イベント、新規の関連イベント等で町のPRを実施していく。 (あさんウォーキングフェスティバルの充実・継続) 今後とも出店ブース等の継続と更なる内容の充実を図っていく。 (常設ウォーキングコースの整備) 財政的なことや費用対効果を検証しながら今後検討をしていく。 (ウォーキングラリーの実施) 実施を検討していく。 (ガイド倶楽部の創設) ガイド倶楽部の有効活用を検討していく。 (「へんろ文化」の再生事業) 世界遺産登録に向け、関連自治体と協力しながら、推進していく。	産業課 教育委員会	B
	【KPI】 ○町内滞留人口:H31 20%増加 (あせび温泉利用者 H26 約16万人)	計画値	75.1万人	78万人	80.9万人	83.8万人	86.7万人		産業課	
	実績値		82.7万人	78万人	75.7万人					

基本目標1 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
2 観光と他産業・他部門等との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>付加価値を付けた野菜直売所・収穫体験の場の整備</li> <li>鳥獣被害対策と兼ねたイノシシ捕獲後の有効利用</li> <li>徳島ヴォルティス支援と交流促進事業（小・中・高一貫のサッカー教育）</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>【H30取組内容】 （付加価値を付けた野菜直売所の整備） 現在、計画中の道の駅整備事業の中で、直売所等を建設予定。 （鳥獣被害対策と兼ねたイノシシ捕獲後の有効利用） 有害鳥獣として捕獲したイノシシは、埋設処理を基本としているが、猟友会員の捕獲意欲向上や環境負荷削減につながるよう、猟友会員の自家消費等を推進している。 （徳島ヴォルティス支援と交流促進事業） 板野町民デーや県民デーで、町内の団体等に協力を頂いて出店をしたり、抽選会の商品を提供している。また、町内のヴォルティス支援団体と応援ツアーを実施している。</p> <p>【課題】 （付加価値を付けた野菜直売所の整備） 直売所の運営や配置、協定等をどのように決定していくのが課題である。 （鳥獣被害対策と兼ねたイノシシ捕獲後の有効利用） 利用が未定である。 （徳島ヴォルティス支援と交流促進事業） 更なる会員や試合での来場者の増加を図ること。</p> <p>【H30取組内容】 徳島ヴォルティス支援と交流促進事業 ・町PRを目的としたあさんWFの運営を特別協賛として徳島スポーツビレッジ（ヴォルティス）と協力し合い、イベントの催しの一つとして町内外の参加者同士がサッカー教室を通じて交流を深めている。 ・青少年健全育成事業として、ヴォルティスサッカースクールのコーチに講師を依頼し、幼稚園児と小学生とその保護者を対象とした親子サッカー教室を開催しており、親子の絆を深め、子どもが心豊かに成長するよい機会となっている。 &lt;課題&gt; 実施機会や回数の検討。 あさんWF当日、あすたむらんど来園者がサッカー教室に参加しやすいよう、時間等の調整</p>	道の駅の地域振興施設において着手中	産業課 教育委員会	B
	<p>【KPI】 ○板野町観光推進協議会発足：町内企業等2～5団体連携</p>	計画値	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体			
	実績値		-	-	-					

基本目標1 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
3 道の駅整備による拠点形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>★地元産直品を活かした物産センター・レストランの整備</li> <li>★産直市の開催</li> <li>★観光案内所の設置</li> <li>★水素ステーション・EV急速充電器の整備</li> <li>★発災時支援活動拠点と避難所機能の整備</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>【H30取組内容】 道の駅の整備・運営事業に係る民間事業者募集選定アドバイザー業務を委託するとともにコンサルティング会社とDBO方式により実施する募集資料(入札説明書、要求水準書、契約書等)の作成をし、入札参加者から提出があった提案書類等の審査や契約の締結を行い事業者を決定した。</p> <p>【課題】 産直市やレストラン等の施設の詳細なレイアウト。拠点整備交付金の実績による施設整備の進捗。道の駅の運営方法等の詳細決定。</p>	(地元産直品を活かした物産センター・レストランの整備)  道の駅の整備・運営をすることが決定した民間事業者と情報の共有を図り、道の駅の各施設の詳細なレイアウトや施設整備についてはスピード感を持って進める。また運営や管理方法等については協議会において決定していく。	建設課 産業課 総務課	A
	<p>【KPI】 ○産業振興・観光・防災・地域福祉の総合拠点施設形成・構築</p>	計画値	→	→	→	→	構築		建設課	
	実績値		推進	推進	推進					
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
4 交流を促す情報等基盤環境の整備及び積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>★板野町のイメージ形成とPR強化 (アンジェラ・アキの生まれた町等)</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>【課題】 イメージ形成とPR強化と併せ情報発信も重要である。これらを活かし移住、定住に繋がるよう板野町の魅力、観光等の地域資源、施策、また板野町は古来より交通の要衝であるとともに町内には札所が3ヶ所もあるという魅力的なものがある。これらの多様なコンテンツを融合しあらゆる分野が活用可能となる拠点「道の駅」にどう繋げ、どのようにイメージ形成とPR強化出来るか。</p>	イメージ形成とPR強化等を発信するには魅力的なコンテンツが必要であることから掘り起こしを行う。	産業課	C
	<p>【KPI】 ○町PR動画作成によるホームページアクセス数:20%増</p>	計画値	→	→	→	→	構築		産業課	
	実績値		-	-	-					

基本目標1 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
5 情報発信機能の強化	・徳島県出身者にターゲットを絞った情報発信	推進	→	→	→	→	【課題】 現在、板野町に移住したいと思ってもらえるような施策としては保育園、幼稚園の無償化等が考えられるが、これらに加えて埋もれている地域資源を掘り起こし、団塊の世代や若者等のU・Iターン希望者に対して居住・就労・生活支援等に係る情報提供や相談についてワンストップで対応する窓口を開設するなど田舎での健康的な生活の場、自己実現や社会還元を図る場を提供することにより移住が「普通の選択肢の一つ」になるよう移住希望者に情報を提供し、定住促進に取り組む必要がある。	板野町の魅力をどう掘り起こしていくか再検討する必要がある。	産業課	C
	【KPI】 ○「帰って来んでPR動画」ホームページ掲載	計画値	→	→	→	→	掲載		産業課	
		実績値		-	-	-				
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
6 町出身者学生のUターン促進	★町独自の奨学金の創設とUターン者への返済免除	推進	→	→	→	→	〈H30取組内容と進捗状況〉 ・返還の期間内（高校8年、大学10年）に板野町に住民登録を有し、かつ居住し、世帯に町税等の滞納がないとき、奨学金等の全部または一部を免除する。ただし、1年ごとに免除申請届が必要で、免除額は届出のあった1年分ごと。 ・新制度創設に伴い所得認定基準を緩和（H27までは生活保護基準の1.3倍→H28から1.5倍→H29から1.6倍） ・H28年度以降、毎年、貸与申請者は一定数あり、定住による返還免除制度導入の効果が表われていると考えられる。 ・H28年度貸付分の返還免除者は1名。H29年度貸付分の返還免除者3名。H30年度貸付分の返還免除者6名。  〈課題〉 ・申請があっても、所得認定基準を超えているため不認定となってしまう。  〈H30→H31戦略の改善見直し箇所〉 ・継続して事業を推進していく。	・事業を継続していく。 ・地元の中学校、高等学校へ募集案内のチラシを配付し、奨学金担当教諭と連携をとり、周知に努める。	教育委員会	A
	【KPI】 ○新制度奨学金（緩和規制）の創設：定住率50%（H26：2人、累計18人 定住率50%）	計画値	-	-	-	-	-		教育委員会	
		実績値		1名	3名	6名				

基本目標1 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			H27	H28	H29	H30	H31				
7 里帰り促進	・孫世代の「里帰り」訓練の場としての「大坂分校」の夏季学級の開校		推進	→	→	→	→	<p>&lt;H30取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仲間と体験や思い出を共有し、板野町に「帰ってきたい、住んでみたい」と感じてもらう。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>孫世代の里帰り訓練場としての夏季学級を開校するにあたり、期間及びどのような内容を行うのか、詰めていく必要がある。</li> <li>周知方法についても、多数の人が参加してくれるよう検討していきたい。</li> </ul> <p>【H30取組内容】</p> <p>取組は無かった。</p> <p>【課題】</p> <p>県外に進学や就職をした方の追跡調査や帰省の状況等を調べる必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践例や類似例があれば、参考にしながら事業を進めて行くとともに、板野町を良い町と感じてもらえる、効果的な取組になるよう努める。</li> </ul> <p>都市圏等の県外に進学をした方が自然と触れ合える環境を求めて、Uターンや移住を考えて頂けるような充実したプログラムの作成や効果的な情報発信を検討する必要がある。</p>	教育委員会	B
	<p>【KPI】</p> <p>○「里帰り」孫世代夏季学級体験者：20人以上</p>	計画値	→	→	→	→	20人以上		教育委員会		
		実績値		0人	0人	0人					
	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			H27	H28	H29	H30	H31				
8 移住の受け入れ環境の整備	★他市町村からの転入者を対象にした子育て世代対応県産材を利用した住宅の整備 ・他市町村（県外）からの転入者の居宅新築等の補助金制度・税制優遇の創設 ・リタイアメント者を対象にした住まいと仕事の斡旋等の受け入れ体制整備 ・地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進		推進	→	→	→	→	<p>【H30取組内容】</p> <p>（リタイアメント者を対象にした住まいと仕事の斡旋等の受け入れ体制整備）</p> <p>取組は無かった。</p> <p>（地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進）</p> <p>取組は無かった。</p> <p>【課題】</p> <p>（リタイアメント者を対象にした住まいと仕事の斡旋等の受け入れ体制整備）</p> <p>移住をするには、生活基盤が必要なため、就労支援をどうするのか</p> <p>（地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進）</p> <p>地域おこし協力隊の任用</p>	<p>本町に見合う事業で、地域おこし協力隊が必要と判断されれば、検討していく。</p>	建設課 産業課	C
	<p>【KPI】</p> <p>○子育て世代（転入者対象）住宅整備：1戸建て概ね10戸以上（転入者概ね40人以上）</p>	計画値	→	→	→	→	10戸以上		建設課		
		実績値		-	-	-					

基本目標2 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
9 農業力の強化による雇用力の増強	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業法人（個人事業等）の促進による若者の人材育成</li> <li>企業・JA・金融等の連携による経営・収益力の向上</li> <li>ブランド化のための地域一体となった取り組み</li> <li>生産者キャラの情報発信の強化</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<b>【H30取組内容】</b> ・認定農業者向けに税理士による税研修会（年1回）及び町内農業者向けに徳島県農業会議の協力により農業簿記教室（月1回程度）を実施し、税への知識を深め人材育成を行っている。 ・板野町の基幹作物であるにんじんを利用したドレッシング、そうめん等の開発、販売に取組みブランド化を推進している。  <b>【課題】</b> ・現況の法人数は保っているが、更なる法人数の増加に努める必要がある。	・引き続き税の講習会等を行い、税に対しての農業者の知識向上に努め、法人化に対する意欲を高める。	産業課	B
		【KPI】 ○農業法人化の推進（H26 8法人）：現況以上	計画値	→	→	→				
		実績値		8法人	8法人	8法人				
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
10 農業後継者対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業後継者育成事業</li> <li>体験農業型の県外者受入促進（定住促進）</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<b>【H30取組内容】</b> ・年1回農業者の研修として、農機具メーカーや種苗メーカー等を訪問し農業に対する知識を深め後継者の育成を行っている。 ・随時新規就農の相談は受け入れし後継者となるべく人材の就農支援を行っている。  <b>【課題】</b> ・新規に就農する人もいるが、加齢により農業を廃業する人はそれ以上に多く、全体としては農業者の減少傾向にある。	・引き続き研修及び、相談受入れ等を行い、後継者の育成や就農支援に努める。	産業課	B
		【KPI】 ○農業後継者：70人（H31）（H26 60人）	計画値	62人	64人	66人				
		実績値		59人	56人	55人				

基本目標2 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
11 新規就農者の受け入れ体制の充実	・県外からのインターンシップ受け入れによる新たな雇用づくり	推進	→	→	→	→	<b>【H30取組内容】</b> ・新規就農者の受け入れ体制の充実として、随時相談窓口を開いている。インターンシップの受け入れに関して、徳島県や農業会議などで実施している研修などを随時活用していく。  <b>【課題】</b> ・新規就農者数は微増である。板野町で農業ができる環境作りが必要。	・引き続き研相談受入れ等を行い、徳島県や農業会議の研修も活用していく。	産業課	B
	【KPI】 ○新規就農者数:10人(H31) (H26 3人)	計画値	—	2人	2人	2人	1人		産業課	
		実績値		4人	5人	5人				
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
12 六次化産業への取組	★ニンジンドレッシングのブランド化と全国販売 ★新たな六次産業化の素材研究と販路開拓への取組 ・金融機関との連携による六次化ファンドづくり	推進	→	→	→	→	<b>【H30取組内容】</b> ・新商品の開発実績はなかったが、地方創生推進交付金を活用し、徳島県と7市町でとくしま六次産業化推進連携協議会を設置。協議会の事業として2月14日～16日に千葉県の幕張メッセで開催されたスーパーマーケット・トレードショー（スーパーマーケットを中心とする食品流通業界に最新情報を発信する商談展示会）に『にんじんドレッシング』『にんじんそうめん』を出展した。 また、3月5日～8日に千葉県の幕張メッセで開催されたFOODEX JAPAN2019（アジア最大級の国際食品・飲料展）に『にんじんドレッシング』を出展するなど、商品の販路拡大を行った。  <b>【課題】</b> ・開発した商品のブランド化を見込んだ販路拡大方法が課題である。	・開発した商品のブランド化を目指すため、地場農産物と併せて全国発信を行う。	産業課	B
	【KPI】 ○地元企業の特産品開発:2種類以上(ネット販売促進)	計画値	→	→	→	→	2種類以上		産業課	
		実績値		1種類	0種類	0種類				

基本目標2 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
13 地産地消の推進	★地元商店と地場農産物とのコラボ商品の開発 ★給食センターにおける地産地消の推進 ・高齢者健康寿命対策健康食開発研究事業	推進	→	→	→	→	【H30取組内容と進捗状況】 ・H28年度に地方創生加速化交付金を活用し板野町ふるさと味づくり研究会に委託し、地場農産物をふんだんに使った高齢者向け弁当の開発。 今年度は、開発した弁当の随時提供を行っている。 【課題】 ・開発した弁当を町民に広く浸透させる必要がある。 <H30取組内容と進捗状況> ・地場産物活用状況41.75% (H30.6.11調査平均) 県下平均値43.85% 概ね良好 ・町内農家に出向き野菜の納入を依頼 ・町商工会や味づくり研究会による加工品を使用 ・見積条件に県内産(町内産)と記載 <課題> ・1回の使用量が少数のため、農家にとってメリットが少ない ・町内産で賄えるものが限られるため、割合上昇が望みにくい(人参、れんこん等) <H30→H31戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を推進していく	・今後もさらに地場農産物をふんだんに使用したメニューの開発を行っていくとともに、安定した提供が行えるよう他企業との連携も行っていく。 ・一般公募となると選定が難しいため、信頼のおける農家に直接依頼する形を維持していく。子供たちの口に入るものであるという理解を第一に、安心安全を確保できるかが最重要である。	産業課 教育委員会	B
	【KPI】 ○商品開発企業連携数:2業者以上	計画値	→	→	→	→	2業者以上		産業課	
		実績値		—	0業者	0業者				
	【KPI】 ○学校給食センター食材地元業者購入:町商工会加盟店(270)現況以上	計画値	—	—	—	—	—		教育委員会	
		実績値		10店	10店	10店				
	【KPI】 ○健康食開発・地産地消レストランメニュー開発:10種類以上	計画値	→	—	→	→	10種類以上		産業課	
		実績値		11種類	0種類	0種類				
【KPI】 ○介護保険認定率:18%未満	計画値	→	19%未満	19%未満	19%未満	18%未満		福祉保健課		
	実績値	→	19.9%	20.3%	19.7%					

基本目標2 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			H27	H28	H29	H30	H31				
14 企業誘致の促進	・ 町有地の未利用地を活用した企業立地の誘導 ★ サテライトオフィス等の誘致（関所跡等の活用）		推進	→	→	→	→	【課題】 優良企業の誘致の推進にあたり公共施設等の有効活用	更なる企業誘致を推進し、空き家や公的施設等の活用を図り、有効活用を検討する。	産業課	B
	【KPI】 ○ サテライトオフィス・コールセンター等情報関連産業誘致：2社以上	計画値	→	1社	→	→	1社			産業課	
		実績値		1社	0社	0社					
	【KPI】 ○ 民間活力を利用した企業立地件数：2社以上	計画値	→	1社	→	→	1社			産業課	
実績値			2社	0社	0社						
	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			H27	H28	H29	H30	H31				
15 立地条件を活かした新たなビジネス展開	・ ICT等の利活用による地域の活性化 ・ スポーツ合宿等を含めた宿泊施設の立地誘導 ・ 交通条件を活かした流通業の立地誘導		推進	→	→	→	→	<p>&lt;H30取組内容と進捗状況&gt; 田園パークやスポーツビレッジ等各町内施設活用を促進し、町外住民を呼び込むことで中長期間滞在において町内の魅力を発見できる足掛かりとなるよう宿泊施設の立地誘導に取り組む</p> <p>&lt;課題&gt; 宿泊施設の立地誘導に向け、期間及びどのような内容・順序立てを行うか検討する必要がある。</p> <p>【H30取組内容】 ICTの利活用や宿泊施設の誘致、交通条件を活かした流通業の立地は、できなかった。</p> <p>【課題】 ICTをどのように利活用するかビジョンやコンセプトがない。</p> <p>観光客が板野町に2日滞在できる観光資源がない。流通業の進出意向が把握できていない。&lt;H30取組内容と進捗状況&gt; 田園パークやスポーツビレッジ等各町内施設活用を促進し、町外住民を呼び込むことで中長期間滞在において町内の魅力を発見できる足掛かりとなるよう宿泊施設の立地誘導に取り組む</p> <p>&lt;課題&gt; 宿泊施設の立地誘導に向け、期間及びどのような内容・順序立てを行うか検討する必要がある。</p>	<p>・ 実践例や類似例があれば、参考にし事業を進めていくとともに、板野町の魅力を感じてもらえるよう効果的な取組になるよう努める。</p> <p>ICTをどのように利活用するかビジョンやコンセプトの検討。</p> <p>観光客が板野町に2日間滞在して頂ける環境づくりを検討。流通業の進出意向への情報収集をしていく。</p>	<p>総務課 教育委員会 産業課</p>	B
	【KPI】 ○ ICTまちづくり推進事業協力機関：2社以上	計画値	→	1社	→	→	1社			総務課	
		実績値		1社	0社	0社					

基本目標3 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価																				
		H27	H28	H29	H30	H31																								
16 婚活支援	★カップリングパーティー（多様な職種の男女の出会い）の開催	推進	→	→	→	→	<p>【事業概要】 板野町婚活支援事業として徳島県の『心ときめく』地域婚活支援事業補助金を活用しカップリングパーティーを実施している。 平成27年度より実施 年齢制限：20歳から45歳まで 男性（板野町在住もしくは勤務地が板野町の方） 女性（徳島県在住）</p> <table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>男性</td> <td>女性</td> <td>カップル数</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>24人</td> <td>24人</td> <td>3組</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>23人</td> <td>24人</td> <td>4組</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>20人</td> <td>20人</td> <td>5組</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>20人</td> <td>20人</td> <td>4組</td> </tr> </table> <p>【課題】 H28にカップルとなった内、1組が成婚に至った。引き続きカップル成立のためにフォローが必要。</p>	参加者数	男性	女性	カップル数	平成27年度	24人	24人	3組	平成28年度	23人	24人	4組	平成29年度	20人	20人	5組	平成30年度	20人	20人	4組	・事業を継続すると共に、カップリングパーティー時のフォローを強化し最終的に成婚に至るよう努める。	産業課	B
	参加者数	男性	女性	カップル数																										
平成27年度	24人	24人	3組																											
平成28年度	23人	24人	4組																											
平成29年度	20人	20人	5組																											
平成30年度	20人	20人	4組																											
	<p>【KPI】 ○30歳未満婚姻者数：10%（前年比）（H26 男24人 女22人）</p>	計画値	51人	56人	62人	68人	75人	H28－男21、女25 H29－男25、女20 H30－男15、女16（暦年で集計）	住民課																					
		実績値		46人	45人	31人																								
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価																				
		H27	H28	H29	H30	H31																								
17 出産支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学・高校生の将来ライフプランの教育充実</li> <li>・ 0歳児に対する各種費用の全額助成</li> <li>・ 乳幼児の身近なサポート体制の充実</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>&lt;H30取組内容と進捗状況&gt; ・ ライフプラン教育を通じて夢や目標を持って生きること、それを実現するために努力することの大切さを知る。 ・ 職場体験を総合的な学習の時間に位置づけ、板野中学校2年生時に原則全員参加としている。また、職場体験の事前・事後指導の時間も設けている。</p> <p>&lt;課題&gt; ・ 生徒が学ぶこと・働くことの意義を理解し、本人が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲など培うことができるようにしていくことが重要。</p> <p>0歳児に対する各種費用の内、医療費は子どもはぐみ医療費で助成。</p> <p>子育て相談窓口を広報等により発信。サポート体制の周知促進。</p>	・ 継続していくとともに、生徒にとって意義深いものとなるよう努める。	住民課 教育委員会	A																				
	<p>【KPI】 ○出生数：10%以上上昇（前年比）</p>	計画値	-	-	-	-	-	H26－64 H27－67 H28－90 H29－84 H30－94（出生日の暦年で集計）	住民課																					
		実績値		90人	84人	94人																								

基本目標3 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価					
		H27	H28	H29	H30	H31									
18 子育てに対する経済的支援の充実	★多子世帯への保育料・幼稚園授業料の軽減 ★義務教育修了までの医療費無料化 ★学校給食費の半額補助	推進	→	→	→	→	保育料は、第1子から無料。 義務教育修了までの医療費無料。 【保育料の無償化】 〈H30取組内容と進捗状況〉 ・H28年4月より、第1子からの幼稚園の授業料の無料化を実施。 ・H28年10月より、第1子からの保育園の保育料の無料化を実施。 ・父母、子どもに板野町に住居登録を有し、居住していることが無料化の要件。 ・幼稚園預かり保育についても、利用料は無料。 〈課題〉 ・賃貸住宅に転入した場合は、一時的なものであったり、定住につながるかはわからないが定住に繋がるよう施策等の構築が必要。 〈H29→H30戦略の改善見直し箇所〉 ・継続して事業を推進していく。 【学校給食費の半額補助】 ・要保護・準要保護を除く幼・小・中の児童生徒全員の給食費を半額のみ請求。（要保護は全額請求、準要保護は免除）	・引き続き継続していく ・医療費については平成31年4月より18歳まで無料。	住民課 教育委員会	A					
	【KPI】 ○子育て世代転出率:20%減少・転入率:20%上昇	計画値	-	-	-	-	-	(年度集計、単位:件数)			住民課				
		実績値		48人	55人	41人		全体	H28転入	H29転入			H30転入	H28転出	H29転出
	実績値		31人	41人	38人		子育て世代	48	55	41			31	41	38
19 就学前幼児教育・保育の充実	★幼児教育無償化（第1子から就学前無料）（子育て支援制度に基づく、幼稚園・保育所等）	推進	→	→	→	→	〈H30取組内容と進捗状況〉 ・父母、子どもに板野町に住居登録を有し、居住していることが無料化の要件。 ・幼稚園預かり保育についても、利用料は無料。 ・H28年4月より、第1子からの幼稚園の授業料の無料化を実施。 ・H28年10月より、第1子からの保育園の保育料の無料化を実施。 〈課題〉 ・賃貸住宅に転入した場合は、一時的なものであったり、定住につながるかはわからないが定住に繋がるよう施策等の構築が必要。	・事業を推進していく。 ・給食費については令和元年10月より就学前児童は無料。これにより就学前児童については全て無料となる。	住民課 教育委員会	A					
	【KPI】 ○子育て世代転出率:20%減少・転入率:20%上昇 <再掲>	計画値	-	-	-	-	-	(年度集計、単位:件数)			住民課				
		実績値		48人	55人	41人		全体	H28転入	H29転入			H30転入	H28転出	H29転出
	実績値		31人	41人	38人		子育て世代	48	55	41			31	41	38

基本目標3 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価				
		H27	H28	H29	H30	H31								
20 子育てに対する地域ぐるみでの支援体制の充実	<p>★幼稚園、保育園の保育時間の延長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども若者相談支援事業（役場でのワンストップ対応化）</li> <li>・ワークライフバランスに対する取り組み強化（リタイアメントを活用した人材確保）</li> </ul> <p>★子育て支援拠点整備事業</p>	推進	→	→	→	→	<p>【保育園の土曜日の保育時間を延長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度より、町立保育園の土曜日保育時間を13時から18時15分に延長。</li> </ul> <p>【幼稚園の保育時間の延長】</p> <p>〈H30取組内容と進捗状況〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度より、預かり保育の開設時間を1時間延長し、午後6時までとしている。</li> <li>・H27年度より、長期休業中（夏休み等）の預かり保育の実施を始めた。（午前8時～午後6時）</li> <li>・幼稚園預かり保育利用人数 H27(4月)63人、H28(4月)66人、H29(4月)66人、H30(4月)86人 〈H30→H31戦略の改善見直し箇所〉</li> <li>・継続して事業を推進していく。</li> </ul> <p>〈子育て支援拠点整備事業〉</p> <p>総合戦略の「子育て支援の充実」の一環において板野保育園の統合に併せて地方創生拠点整備交付金を活用し調理室を新たに建設した。保護者からの声として、家では食事指導ができない栄養面で心配がある、保育園の給食に興味がある、子育てが忙しく、ゆとりがほしいなどの意見があり、給食体験の場として週2回（月・水）、保育園給食を提供している。H30年度は3組であったが、要望が多く令和元年度は4組に増やした。</p> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センターを利用している子どもの年齢が0歳児が多く、離乳食をして欲しいとの相談があり、栄養士と話し合い7月より提供している。○給食体験の場を提供しているが、現在は、みらいっこらぶを利用した帰りに利用している親子がほとんどであるが、それ以外の親子にも参加できるよう、働きかける。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を継続していく。</li> <li>・保育内容を充実させ、魅力ある預かり保育となるよう努める。</li> </ul> <p>食育として、野菜作り、管理栄養士による保護者向け講演会、絵本の読み聞かせなどを充実させていき、食べることへの感謝や、喜びが深まるように努めると共にKPIの目標値へ、更には上積みしていく。</p>	住民課 教育委員会	A
	【KPI】 ○幼稚園預かり保育児童数：60人以上	計画値	60人以上	61人以上	62人以上	63人以上	64人以上			教育委員会				
		実績値		66人	66人	86人								
	【KPI】 ○保育園入所者数と地域子育て支援センター利用者の内給食利用者数(日単位)：245食	計画値			-	-	225食			保育園				
		実績値			-	246食								
【KPI】 ○未就学児童の増加者数：45人	計画値			-	-	41人			保育園					
	実績値			-	51人									
【KPI】 ○未就学児童世帯員の増加者数：122人以上	計画値			-	-	110人			保育園					
	実績値			-	124人									

基本目標3 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
21 特色ある教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>サッカーの小・中・高の一貫教育体制（徳島ヴォルティスとの連携）</li> <li>板野高校の教育強化による進学校への推進</li> <li>英語で特色ある教育環境づくり</li> <li>★町独自の奨学金制度</li> <li>学区制線引き廃止の働きかけ（全学区）</li> <li>リタイアメントの人材を活用した各児童館での放課後教育の充実</li> <li>特別支援学級への教育環境の充実</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>【徳島ヴォルティスと交流促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町PRを目的としたあさんWFの運営を特別協賛として徳島スポーツビレッジ（ヴォルティス）と協力し合い、イベントの催しの一つとして町内外の参加者同士がサッカー教室を通じて交流を深めている。</li> <li>青少年健全育成事業として、ヴォルティスサッカースクールのコーチに講師を依頼し、幼稚園児と小学生とその保護者を対象とした親子サッカー教室を開催しており、親子の絆を深め、子どもが心豊かに成長する良い機会となっている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>実施機会や回数の検討。</p> <p>【町独自の奨学金制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>返還の期間内（高校8年、大学10年）に板野町に住民登録を有し、かつ居住し、世帯に町税等の滞納がないとき、奨学金等の全部または一部を免除する。ただし、1年ごとに免除申請届が必要で、免除額は届出のあった1年分ごと。</li> <li>新制度創設に伴い所得認定基準を緩和（H27までは生活保護基準の1.3倍→H28から1.5倍→H29から1.6倍）</li> <li>H28年度以降、毎年、貸与申請者は一定数おり、定住による返還免除制度導入の効果が表われていると考えられる。</li> <li>H28年度貸付分の返還免除者は1名。H29年度貸付分の返還免除者3名。H30年度貸付分の返還免除者6名。</li> <li>申請があっても、所得認定基準を超えているため不認定となってしまう。</li> </ul> <p>&lt;H30→H31戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続して事業を推進していく。</li> </ul> <p>&lt;H30取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校英語指導講師による英語学習で、早期より外国語に慣れ親しむ。</li> <li>県内の公立普通科高校の学区制見直しに関し、今の中学2年生が受験する2021年度入試から徳島市の城東高校を全県募集予定</li> <li>受給要件を満たす板野町立の小・中学校の特別支援学級に在籍する児童又は生徒の保護者に対して、学用品費や校外活動費等の就学に必要な経費の一部を援助する。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続して事業を推進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業を継続していく。</li> <li>地元の中学校、高等学校へ募集案内のチラシを配付し、奨学金担当教諭と連携をとり、周知に努める。</li> </ul>	教育委員会	A
	<p>【KPI】</p> <p>○新制度奨学金（緩和規制）の創設：定住率50% &lt;再掲&gt; （H26:2人 累計18人 定住率50%）</p>	計画値	-	-	-	-	-		教育委員会	
	実績値		1名	3名	6名					

基本目標3 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
22 若者専用住宅整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存町営住宅の若者向け住宅への改修</li> <li>・民間の建託事業に若者向けアパートの建築助成</li> <li>・立地環境を活かした住宅環境の整備（空き家を活用）</li> <li>★他市町村からの転入者を対象にした子育て世代対応県産材を利用した住宅の整備</li> <li>・他市町村（県外）からの転入者の居宅新築等の補助金制度・税制度の優遇の創設</li> <li>・地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>【H30取組内容】 （地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進） 取組は無かった。</p> <p>【課題】 （地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進） 地域おこし協力隊の任用</p> <p>【H30取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度に町営平田団地南側に用地を取得したが、現状は購入した状態のままである。面積は1,435㎡</li> <li>また、町内に多くの民間アパートが建設されている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町営平田団地の駐車場が不足しており、取得済みの用地は平田団地駐車場として整備し、戸建て住宅を建設する別の用地を取得する必要がある。</li> </ul>	<p>本町に見合う事業で、地域おこし協力隊が必要と判断されれば、検討していく。</p> <p>事業を継続するとともに、建設候補用地等と、活用できる交付金等を探す。</p>	建設課 産業課	C
	<p>【KPI】 ○子育て世代（転入者対象）住宅整備：1戸建て概ね10戸以上（転入者概ね40人以上）＜再掲＞</p>	計画値	→	→	→	→	10戸以上		建設課	
		実績値	-	-	-					

基本目標4 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
23 多世代交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動の拠点の環境整備（あせび温泉の活用）</li> <li>・老若男女が気安く集まれる身近なサロン機能の整備</li> <li>・養護老人ホーム入所者の拡充（県外高齢者移住促進）</li> <li>・介護予防事業・高齢者学級の充実</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>&lt;サロン事業概要と進捗状況&gt; 地域の人同士のつながりを深める自主活動の場（サロン）の設置・運営等を支援する事業として高齢者サロン登録制度を創設。</p> <p>&lt;介護予防事業&gt; 第1号被保険者を対象に、生活機能の維持・向上を目的として、介護予防教室、出前講座を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防教室 47回開催906人参加（平成30年度）</li> <li>・出前講座 12回開催255人参加（平成30年度）</li> </ul> <p>&lt;事業概要と進捗状況&gt; 養護老人ホームの空室に県外高齢者の移住希望者に入居してもらおう。8月20日現在入居者34名であり、残り14人受け入れ可能となっている。県内他市町からの入居はあるが、県外からの入居者は少ない。</p> <p>&lt;課題&gt; 入居者が増加するための施策検討。</p>	引き続き継続する。	福祉保健課 老人ホーム	B
	【KPI】 ○高齢者等・孫世代交流サロンの構築	計画値	→	→	→	→	構築		福祉保健課	
		実績値		-	-	-				
	【KPI】 ○徳島型CCRC構築への参画：H31	計画値	→	→	→	→	参画		福祉保健課	
	実績値		-	-	-					

基本目標4 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
24 消費喚起の拡充	<p>★プレミアム商品券継続拡充し町内商工業の振興支援 ★高齢者（75歳以上）タクシー助成券（試行） ★敬老年金の継続</p>	推進	→	→	→	→	<p>【H30取組内容】 （プレミアム商品券継続拡充し町内商工業の振興支援） 取組はなかった。</p> <p>【課題】 近隣に超大型店が相次ぎ出店してきている昨今、地元商業者にとっては、既存顧客の維持が最大の課題である。</p> <p>&lt;タクシー助成券の概要と進捗状況&gt; 75歳以上で要件を満たす高齢者がタクシーを利用する場合に、その料金の一部を助成することにより、外出（買い物・通院）等を支援する事業。 【交付金額】年額6,000円（500円×12枚/1人あたり）、【利用可能なタクシー事業所】板野タクシーと羅漢タクシー 平成28年9月より事業開始し3年目、平成30年9月～翌年7月までの11ヶ月間での利用率は35.6%、月平均の利用者数274人、タクシー券の利用目的は、58.1%が通院、18.6%が買い物、23.3%がその他となっております。</p> <p>&lt;課題&gt; タクシー券の交付事業を初めて3年余りが経過し、事業の周知を継続していく。 利用者の現状・ニーズを把握しておく必要がある。</p> <p>&lt;敬老年金の事業概要と進捗状況&gt; 75歳以上で要件を満たす高齢者に敬老年金を現金給付し、長寿を祝福し、生活意欲を高め福祉の増進を図ることが目的。 【給付額】5,000円（年額/1人あたり） 歴史のある事業であり、高齢者は楽しみにしている施策である。 現金手渡し給付を基本としており、給付対象者の安否確認も兼ねている。</p>	<p>令和元年10月1日から予定されています消費税・地方消費税10%への引き上げによる消費に与える影響の緩和と地域における消費を喚起するため、低所得者・子育て世帯を対象としたプレミアム付商品券事業を実施します。</p> <p>&lt;タクシー助成券&gt; 引き続き継続する</p> <p>&lt;敬老年金&gt; 引き続き継続する</p>	産業課 福祉保健課	A
	<p>【KPI】 ○プレミアム商品券：プレミアム率20%継続・高齢者（75歳以上）タクシー助成券：H27阿波とくしま商品券波及効果を基準に検証</p>	計画値	-	-	-	-	-		産業課 福祉保健課	
	実績値			813人	-					
	実績値		2002人	2035人	1900人					

基本目標4 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
25 生活支援策の充実	・生活困窮者の支援強化（生活困窮者相談所やセーフティネットの強化）	推進	→	→	→	→	<p>&lt;事業の概要&gt; 生活困窮者自立相談支援事業は、県が県社協に委託し実施していることから、町と町社協との相談窓口の完全な一本化は困難である。現時点では、生活保護の新規相談時において、町と町社協の担当者が同席し、連携強化により対応している。</p> <p>生活困窮者は、経済的な問題のみならず、精神的な問題、家庭の問題など複合的な問題を抱え、それぞれが複雑に絡み合っている場合が多い。このような生活困窮者の自立を促進するため、包括的・個別的・早期的・継続的な支援を実施する。</p> <p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt; 相談受付件数7件 プラン作成件数5件 一般就労総数4件 広報3回(広報すがお1回、社協だより2回)</p> <p>&lt;H30取組内容と進捗状況&gt; 相談受付件数17件 プラン作成件数61件 一般就労件数4件 広報5回(広報すがお3回、社協だより2回)</p> <p>&lt;課題&gt; 潜在的な相談者の把握について検討する。</p>	<p>今後も事業を継続するとともに生活保護に至る前の段階からの早期の支援に努める。</p> <p>【今後の取組方針】 生活困窮者の相談が適時・適切に行われるよう、効果的な周知に努める。生活保護等の相談者にも必要に応じ情報提供を行う。</p>	福祉保健課	A
	【KPI】 ○各機関・くらしサポートセンターの連携体制の強化：相談窓口の一本化	計画値	-	-	-	-	一本化		福祉保健課	
	実績値		-	-	-					
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
26 シルバーパワーの活用	・「(仮称)街づくり協力隊」の編成	推進	→	→	→	→	<p>&lt;事業概要と進捗状況&gt; 住民が主体となり、ボランティアでまちづくり(奉仕作業等)に参加していただく人を募集する。可能な範囲での参加とし、作業前にお知らせする。社会貢献活動に参加することで、自分自身の生きがいや仲間づくりにつなげる。</p> <p>&lt;課題&gt; 奉仕作業の内容とボランティア登録の方法</p>	引き続き継続する。	福祉保健課	B
	【KPI】 ○「(仮称)まちづくり協力隊」編成：H31	計画値	→	→	→	→	編成		福祉保健課	
	実績値		-	-	-					

基本目標4 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価	
		H27	H28	H29	H30	H31					
27 住民参加による実行部隊の形成	・「（仮称）板野町地方創生町民会議」の設立	推進	→	→	→	→	<p>&lt;事業概要と進捗状況&gt; 地方創生の指針となる板野町総合戦略を平成27年10月に策定した。この戦略には「PDCAサイクル」の構築、実行が掲げられており、「産官学金労言」の各分野で構成される有識者会議で検証することとなっていることから、平成30年3月に12名で構成する板野町総合戦略評価委員会を設立した。これにより昨年度の各事業の効果の検証などを行っている。</p> <p>総合戦略の計画期間が令和元年度迄の5カ年であることから今年度見直しを行う必要があることから、プロジェクトチームを組織し素案の作成作業中である。</p>	総務課	A		
	【KPI】 ○「（仮称）板野町地方創生町民会議」設立：H28	計画値	→	-	→	→				→	総務課
		実績値		-	設立	-					
	【KPI】 ○「（仮称）板野ふるさと会」創設：H31	計画値	→	→	→	→				創立	総務課
実績値			-	-	-						
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価	
		H27	H28	H29	H30	H31					
28 消費者被害防止やエシカルの浸透	★「新未来創造・消費者行政推進特区」事業			推進	→	→	<p>【H30取組内容】 （要見守りリストの作成：H30） 消費者庁よりリストの提供を受けた（見守り訪問件数：1500件） 消費生活相談員が訪問事業を実施（エシカル消費の認知度：2割） 講座実施、広報紙への掲載、エシカル消費推進宣言の実施等を行った（小・中学校を対象とした授業実施） 作成に向けて、推進</p> <p>【課題】 どの事業においても、様々な団体や機関との連携が重要課題である</p> <p>引き続き、事業の推進を行い、令和元年度の事業の完了を目指す。</p>	産業課	B		
	【KPI】 ○「要見守りリストの作成」作成：H30	計画値			→	作成					産業課
		実績値			推進	一部作成					
	【KPI】 ○「消費者被害防止のための地域見守り活動及び啓発活動等の強化」見守り訪問件数：1500件（H31）	計画値			→	→				1500件	産業課
		実績値			推進	推進					
	【KPI】 ○「エシカル消費の浸透」認知度：2割（H31）	計画値			→	→				2割	産業課
実績値				推進	推進						
【KPI】 ○「小・中学校を対象とした消費者教育」授業実施：全学年（H31）	計画値			→	→	全学年	産業課				
	実績値			推進	推進						

## 外部評価委員からの意見

合計特殊出生率が概ね1.5ということで、0.96からそこまで持つて行くのは大変なご努力があったんだろうなという風に思う。町長はじめ職員の皆様あるいは関係者の皆様方が非常に努力された結果かなと思う。

あすたむらんどの方の来園者というのも少し低迷しているというのが正直なところある。KPIの数値で平成27年度の時があすたむらんど50万人超えるという驚異的な数字を出したことがありまして、その数値を参考にされていると思うので、実際44万人ぐらいのペースで6万人実際減っているというところがあるので。数字的には厳しい状況ではある。現状は、40万人半ば位であり、天候等の関係もあるんですけども、27年度の数値が非常に高かったんで、そこを参考にされて数値目標をたてられていらっしゃると思いますので、ちょっと数値目標が大きいかなというところが正直あるかなと思っている。

正直、少子化ということが、じわじわきているというところを身にしみているところではある。やはり私どもの方も未就学児童・お子さんだけを対象ではなくて、やはり年配の方というところの誘客と、若者らにターゲットを絞りつつある。

道の駅の完成が令和3年の春ということなので、ひとつまた新しい交流拠点が出来るわけなので、ここにあすたむらんど、もう一つは札所が町内に3つもあるというのは少ないので、そういう悠久の歴史を刻む札所、あすたむらんど、道の駅というものが相乗効果が出るように是非ともご検討いただければと思う。

あすたむらんどとしても、道の駅は新たな誘客のアイテムになってくるとは思っておりますので、そこは十分連携を図って行って、お遍路道の方も含めて再度営業の方に努めたいと思う。

産直市ですが、道の駅のすぐ近くにJAの敷地を借りて農家が運営する「アグリ板野」という農産物の販売所が近くにある。2箇所で敵対するのではなく、限りなく道の駅へ本体を持ってきていただいて、頑張っていて、統合して道の駅で物産・農産物が販売できるようにしていただけたら幸いと思う。

板野町と言えば一大農業、規格産業が農業でございますので、それがうまく潜在能力が引き出されるような形で、していただければありがたいなと思っている。

工業短期大学の方でも色々と水素自動車の取組をしており、1台ありますので、徳島市まで燃料を入れに行かなくてもいいというメリットがある。またいろいろ小さなバギーカーみたいなのも作っており、それに使えば非常にありがたいと思う。子ども達もたくさん来ると思うので、イベントの時でも結構ですから、そういうのをちょっと試乗できるとか、出来たらいいのかなと思うので、集客のためのかたちでのコラボレーションを是非お願い出来たらと思う。

企業誘致ですが、わりと県外県内からも板野の方に、移ってきて工場新設したいというようなニーズが増えてきている。現実、どこかいい場所がないかということで不動産関連の業者が問い合わせがあったり、町長にご相談をしたりということもやっているが。なかなか先方さん企業さんが要望されるのは、まず1つには高台がいいと。板野はインターチェンジ入り口がありますのでアクセスは比較的いいものですから、出来れば高台でソフトパークのような企業がある程度集まっているような場所を望まれるケースが多い。出来れば第2のソフトパークみたいなものが出来ればいいなという風には思う。

関西と関東にも結構店舗を持っているが、そちらの方からも比較的土地の安価な所ですね広くてアクセスがよく、かつ音を気にせずにもものづくりが出来るといった場所の要望等がある。今のソフトパークのような場所が出来れば、もう少し企業の誘致というのも出てくるのかなという風には思う。

徳島市内及び藍住町内の企業様で、ある程度まとまった土地の工場誘致というのを希望されている。個人的な不動産業者にあつたりして、ご相談させていただいているが、まだ成約には至っていないが、何カ所か候補地を挙げてるような状況が続いている。

空き家対策についてですが、わりと各企業さん人手不足に悩まれており、働き方改革もあるので、外国人の技能実習生を何人か雇用されてバランスを取っていると企業さんが結構ある。この技能実習生の方の住居についてですが、皆さん3年から5年すると地元に戻られますから、自社でそういう居住施設を作ってもいいんですけど出来れば町内にある空き家を有効利用出来ないだろうかという相談をよく受ける。行政と連携をしながら将来に向けた人材確保という意味でも空き家の活用を検討して頂きたい。

平成25年の7月に有効求人倍率が1倍を超えて、いまもう70何ヶ月1倍を超えている状況で人手不足が進んでいる。現在の徳島県の有効求人倍率1.51であり板野町の有効求人倍率は毎月ハローワークの方で分析をしており、県下の1.51よりも少しだけ低い状況にある。

県版特区を活用し、テレコメディアの誘致に繋がり雇用数については、当初50名程度と想定していたのが100名への雇用拡大を図っていることから効果が見られている。出来たらもう少し地元雇用が増えたらいいと思う。

子育て支援センターの活動の一環で、調理室を活用し食育を非常に重視していることから、将来保育園・幼稚園に入園していくお子さん・保護者の方にもいい影響があると思う。これについては今後期待している。また国の方は保育料の無料化というのが10月1日から3歳から5歳までの無料化ということになる。それについては、住民税非課税世帯の子どもが対象であるが、板野町においてはすでに平成28年4月から幼稚園の無料化。さらに10月からは保育園の保育料の無料化という風なことをもう随分と先取りして実施されていること。また幼稚園・保育園の保育の時間を延長したり、夏休みも幼稚園の方でも預かり保育の実施をするとか、いろいろと努力をした結果、ずっと転入者が居続けてくれるかという課題と心配はあるものの、転出よりは転入が多いという状態が毎年続いているという事に対して非常にいい成果が出ているなと思う。

道の駅については施設充実されてますので完成したときには物珍しさで、徳島県民のよくある資質で行かれるとは思いますが、やはりその後のリピーターをどれだけ確保することが課題になってくると思うので。その辺りどう考えていくのかというところが、おそらくまたオープンしてからの課題となってくるのかなあと思う。これを解決するには、最近ではSNSが、すごくPRには効果があって、画映えをする。その場所に行って、こういう画像が撮れるとか、そういう部分で、あすたむらんどとかよく冬場にイルミネーションとかやっていることから、道の駅でも何かそういう点で、例えばあそこ行ったらこういう写真が撮れるとかそういう何か目玉じゃないかと思う。SNS上で何か話題になるとように、そういう風なところも、しっかりと考えたらリピーターの対策になってくるんじゃないかなと思う。

今年の統一的なテーマとしている、SDGsという。世界の共通目標である持続可能な開発目標と言うことで、政府もそういう推進も立ち上げ、首相がトップになっている取組をしている。これからそういった分野が経済面からも環境面からもいろんな形で注目浴びていくと思いますので、そういう視点も次の次期計画においては是非盛り込んでいただければどうか。